

会議録（1）

会議の名称	令和7年度第5回入間市上下水道審議会
開催日時	令和7年10月28日（火） 午後2時00分開会・午後3時30分閉会
開催場所	産業文化センター（図書館） 2階 研修室A
議長氏名	入間市上下水道審議会 会長 相葉 学
出席委員(者)氏名	福島 和弘、岸本 貴志、池上 公子、福島 信久、 奥富 茂生、近藤 孝夫、田中 三郎、佐伯 進、長澤 典子 宮寺 弘隆、市原 義道、久保田 清美、相葉 学、青山 友子
欠席委員(者)氏名	—
説明者の職氏名	3 議題 (ア)・(イ) 上下水道部参事兼上下水道経営課長 藤田 拓也
会議次第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1) 水道料金及び下水道使用料のあり方の答申について (2) その他 4 閉会
非公開理由	—
傍聴者数	0人
配布資料	・令和7年度第6回入間市上下水道審議会会議次第 ・資料1 水道事業の進捗状況 ・資料2 答申案 ・席次表 ・審議会委員名簿
事務局職員職氏名	上下水道部 石原上下水道部長、藤田上下水道部次長 上下水道経営課 山崎副主幹、田島副主幹、安藤主任、鈴木主事

	水道施設課 内沼課長、野口主幹、山田主幹、細野主査 下水道施設課 高野課長、熊倉主幹、佐々木主幹、田中副主幹、 高田副主幹
会議録作成方法	要点筆記

会議録（2）

議事の概要（経過）・決定事項

○新規委員の委嘱

入間市上下水道審議会の委員として、新たに下記の方が委嘱された。任期は令和9年9月30日までとする。

福島 信久 委員

田中 三郎 委員

佐伯 進 委員

長澤 典子 委員

○会長・副会長の選出

会長及び副会長については、委員の互選により、下記の方が再任された。

会長 相葉 学 委員

副会長 福島 和弘 委員

○審議会の公開

審議会の内容は、原則公開とすることについて承認された。

○審議会の会議録への署名

会議録に署名する委員については、市原 義道委員が指名された。

○議題

（1）水道料金及び下水道使用料のあり方の答申について

（2）その他

次回の審議会の日程について

議事の概要（経過）・決定事項

(12月下旬～1月中旬予定)

- 報告以外で審議委員から意見があったため、下記のとおり記載する。

会議録(3)

発言者	発言内容
会長	<p>(再任の挨拶)</p> <p>これまで水道料金と下水道使用料について活発にご議論をいただきましたが、いよいよ今回が最後の会議となります。大詰めに向けて、皆さんのご協力により、良い方向で結論が得られることを期待しております。</p> <p>さて、日本では新たな政権が発足し、本日は高市総理がトランプ大統領と会談を行う予定と伺っております。新政権の最初の取り組みは「物価高対策」とのことであり、ぜひ物価高への対応を進めていただければと願っております。</p> <p>その一環として、水道料金と下水道使用料についても、財政が厳しい状況の中、これまで27年間据え置かれてきた料金では立ち行かなくなるという前提のもと、値上げはやむを得ないという結論に達しつつあるように思います。もっとも、物価高というものは税金と同じで、その目的がしっかりと市民に納得されれば、やむを得ないという理解が得られるものです。そのためにも、使途を明確にすることが最も重要と思っています。</p> <p>入間市上下水道部におかれましても、さまざまなPR活動を展開されていることと思います。しかし一般市民の方にとって、「なぜ値上げをしなければならないのか」という点が最も気になるところです。その点を丁寧に説明し、納得していただけるよう広報をしっかり行っていただきたいと思います。</p> <p>また、「ホームページを見ていただければ分かる」としても、アクセスできる方とできない方がいらっしゃることに留意する必要があります。実際、私もこの審議会の議事録をホームページで拝見する際に、な</p>

発言者	発言内容
	<p>なかなか目的のページにたどり着けず苦労いたしました。お金がかかるという課題があるかもしれません、できるだけ費用をかけずに効果的に広報できる方法を工夫していただけるとありがとうございます。</p> <p>さらに、上下水道事業の新しいマスコットキャラクターを X（旧Twitter）で発信されていますが、これは職員の方の提案により、費用をかけずに制作されたと伺っております。お金をかけなければデザイン会社などに依頼することもできますが、手作りでできることがあれば、その方が良いと思います。</p> <p>今後とも、このような工夫を日頃から大切にしていただき、市民に寄り添った取り組みを進めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
副会長	<p>この度は副会長に再任させていただきありがとうございます。2年間という長くて短い期間ではございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
	<p>水道料金及び下水道使用料のあり方の検討 (説明者：藤田次長、日水コン 徳富)</p>
A委員	<p>料金改定率の算出は、直近の数値と比較するのがセオリーだと思っています。これまで直近の数値として令和 5 年度の供給単価が用いられていましたが、今回、令和 6 年度の値が出てきました。令和 6 年度の供給単価を改定後と比較すると約 32%に相当します。直近の令和 6 年度を基準として、料金改定率は 32%と表現した方が、市民の皆様へのインパクトを軽減できるのではないかと考えます。</p>
藤田次長	<p>ご指摘のとおり、35%の改定率よりも 32%の方が実情に近い値である</p>

発言者	発言内容
	<p>と認識しておりますが、決算の手続きの都合上、12月議会を経て決算が認定されるため、現段階では令和5年度の決算値を使用せざるを得ないという状況です。</p>
B 委員	<p>もう一点は、p.6 の平均改定率ですが、合計欄に 152 円/m^3 や 205 円/m^3 といった供給単価が記載されています。この数値は合計の給水収益を合計の有収水量で割った計算上の平均値であり、実際にこの金額で料金をお支払いいただく方はいません。実際の徴収額は、口径別に記載された値であると思います。</p>
藤田次長	<p>蕎麦工場では水道水を多く利用されていて、水道事業の売上にも大きく貢献していただいている。そのため、供給単価に一定の影響が生じています。</p> <p>このような背景を踏まえ、最新の令和6年度の数値をお示しした経緯がありましたが、ご指摘のとおり混乱を招くおそれがありますので、資料は令和6年度の数値を削除し、令和5年度の数値のみにいたします。</p>
日水コン	<p>供給単価の件ですが、供給単価の意味としては表記によらず同じであり、表の合計欄が不要だとは思いません。しかし、改定率が全体として35%になったことがイメージしづらくなっていると認識しています。</p> <p>供給単価とは、給水収益を有収水量で割った値であり、どの口径も有収水量が同じであれば、35%より低いものと高いものが混在し、中間の35%に落ち着くので、皆さんにイメージしやすいと思います。しかし、入間市の場合は、p.6 のスライドに示したとおり、口径の大きい利用者の有収水量が将来的にかなり増える見込みであり、供給単価が低くなり改定率が抑制される結果となっています。</p>

発言者	発言内容
会長	数値の見せ方については、皆様が納得できる方法が望ましいと考えます。供給単価の合計について違和感があるのかどうか、別の委員からもご意見もいただけますでしょうか。
C委員	自分の家庭がどの区分に該当し、どの程度の料金になるかは分かるよう周知するのでしょうか。
藤田次長	周知期間には、個別相談を実施するとともに、口径と水量を入力すれば料金が算出される計算ソフト（Excel）を掲載する予定です。これにより、料金がいくらになるのかを利用者が各自で把握できるようになります。
C委員	冒頭で相葉会長から情報の提供方法がインターネット中心では周知が難しいという話もありました。市報等で周知される際に、例えば請求書のどの部分を見れば口径が分かるので、この表と照らし合わせてくださいというような紙面を使った周知方法は行わないのですか。
藤田次長	上下水道部では「上下水道トピックス」という広報誌を出していまして、これを活用しながら周知することを考えています。また、自治会の加入率が50%まで低下していることもあります。広報誌を見る能够の人とできない人がいますので、広報誌が見られない方に向けて、シルバーメンバーを活用してポスティングするなど、紙媒体による周知についても考えています。
C委員	数値の見せ方を工夫するために、そのようなやり方を実践してもらえばと思います。B委員はどうでしょうか。

発言者	発言内容
B 委員	<p>これまでの審議会では、今後 5 年間に必要となる建設費用をまかなうためには 35% の料金改定が必要という趣旨の説明でした。本来、この表で示すべきは、全体の平均値ではなく、口径別の供給単価や改定率といった個別の値です。口径別の改定率を中心に説明するなど、表現や資料の示し方を工夫する必要があると思います。</p>
会長	<p>違和感がある方もいらっしゃるかもしれません、これを説明資料の最終版とすることでおよしいでしょうか。</p>
C 委員	<p>今後、人口が減少し、契約件数と有収水量は減少傾向にあると考えますが、資料の p.4 と p.5 を見ると、口径 13mm から口径 20mm の区分は、契約件数は増えて有収水量は減っています。また、口径の大きい区分では契約件数は変わらずに有収水量は増えています。この根拠を教えてください。</p>
日水コン	<p>口径別にそれぞれ予測を行っており、契約件数は口径 13mm が若干増え、口径 20mm は更に増えるという結果になっております。過去 10 年間の実績値を基に算出しており、単身者（一人暮らし世帯）の増加により世帯数が増え、口径 20mm だけでなく口径 13mm も増加する見込みです。</p> <p>過去 10 年間の実績値を基に、これから先の人口や世帯人員等も含めて予測を行っています。このため、この傾向がずっと続くわけではなく、ある程度の時点で頭打ちになり、契約件数も減るような予測結果になっています。今回は算定期間内のみお示ししていますが、もっと長期の予測を行っております。</p>
C 委員	<p>インターネットで検索してみたところ、どこも人口が減っていき、世帯数も今がピークでこれから減少していく状況のようです。もし、この</p>

発言者	発言内容
日水コン	予測結果が外れた場合、5年後に大幅な値上げになることが心配です。
C委員	今後5年間で大きく外れるようなことはないと考えております。有収水量について、家庭用が減ることはご理解をいただいていると思いますが、工場などの大口利用者がこれから稼働し始めるという見込みのデータを提供いただいているので、それを踏まえて将来の水量を設定しています。
藤田次長	契約件数としては増えないものの、これから水をたくさん使い始めるという企業がいるのですね。
会長	<p>先ほど申し上げたとおり、蕎麦工場などの稼働が今後さらに進めば、水の使用量は増加していく見込みです。また、市では青梅インターの近くに新たな産業団地の整備を進めており、もし製造業が中心となれば、水量の増加が大いに期待できます。</p> <p>先ほどの新産業団地は5年以上先の話ですが、人口は減っていくものの、新産業団地ができると、水道と下水道の使用量は増えるため、全体としてはそれほど減らずに推移していくという予測になっています。</p>
A委員	<p>ありがとうございました。その他に質問のある方はいらっしゃいますか。それでは、これで水道料金及び下水道使用料のあり方の検討についての議論を終わります。</p> <p>水道料金及び下水道使用料の料金改定に係る答申案について (説明者：藤田次長)</p> <p>p.2の「13%から20%程度に高める方針が示されました」の記述で</p>

発言者	発言内容
	すが、「方針」という表現が適切でないように感じます。「当審議会が13%から20%程度に高めることが適切であると考える。」といった表現がよいのではないでしょうか。他の委員のご意見を求めます。
D 委員	私も同様に感じました。「方針が示された」という表現では誰が示した方針なのかが分かりづらく、審議会が示したのか、事務局が示したのかが曖昧になっています。事務局が作成したものを審議会が判断したことではなく、審議会が主導的に案を作成しなければならない文案だと思います。
藤田次長	おっしゃるとおり、少し遠慮して「方針が示された」という表現をしましたが、委員の皆様のご賛同が得られれば、A委員のお話のとおり修正したいと思います。
会長	ご意見がないようなので、修正をお願いいたします。
C 委員	下水道の下から2行目の「今回の改定で国が指導もあり」という表現ですが、この文だと国から具体的な指導があったので、こういう方針にしたと読めてしまい、審議会としての議論の経緯が薄く見えるように感じます。この表現に問題はないのでしょうか。
D 委員	これは、国から「今後は一般会計からの繰入れを廃止し、独立採算を徹底するように」との指導があり、令和7年度から繰入れを行わない方針になったことと関連していますか。
藤田次長	おっしゃるとおりです。昨年11月頃に財務省による下水道会計の実地検査を受け、その中で「経費回収率を100%にしなさい」という国全体

発言者	発言内容
	<p>の方針が示されました。国のホームページ等でも、経費回収率 100%を目指す方向性が明示されています。本市は現在、経費回収率が約 93%ですが、一般会計からの補助を受けながら独立採算を謳っている点が問題視されました。</p> <p>入間ドックでも「独立採算を徹底し、一般会計からの繰入れをやめるべき」との指導を受けており、これらを踏まえて本答申案では「国の指導もあり」という表現にしています。</p>
C 委員	<p>そうだとすると、「考え方は適切であると考えます」という表現は実態と合わない気がします。実際には、国の指導に基づいてこのように対応したものであり、検討の結果、というニュアンスではなく、言ってみれば法令に則って対応したということではないでしょうか。</p> <p>「考え方は適切である」と記載すると、他にも案がある中で最も良い案を選んだと聞こえてしまいます。経費回収率は 100%を守るしかないということなんですね。</p>
B 委員	<p>初めに「回収率は 100%以上が望ましい」といった記述を入れておけばよいと思います。それが国的基本的な考え方であり、入間市の経費回収率は 93%と他市に比べて低く、それを改善することを示せば十分です。「国の指導もあり」という表現は不要であり、「経費回収率は本来 100%以上が望ましいが、入間市は 93%と他市より低いため、100%以上となるよう設定した。この対応は適切である。」ということを書けばよいと思います。</p>
藤田次長	<p>ご指摘のとおり、「国の指導もあり」という部分は削除し、表現を修正いたします。</p>

発言者	発言内容
藤田次長	承知しました。
会長	その他、ご意見よろしいでしょうか。
E委員	細かい点になりますが、(2)オのところで「基本使用料のみの範囲を狭める考え方は妥当であると考えます」という表現について、この段落の冒頭で「10 立方メートル／月までを基本使用料のみ使用者に負担する」とありますが、「基本使用量を 5 立方メートルまでとする」と、具体的な数値を記載した方がより明確で良いと思います。
藤田次長	具体的な数値を示した方が伝わりやすいというご指摘と思います。その方向で修正したいと思いますが、会長、よろしいでしょうか。
会長	はい、修正をお願いいたします。
会長	私から1点、細かい点で恐縮ですが、1ページ目の一番下の行に「入間市の水の 80%」という表現があります。「入間市の水」というのは少し曖昧に感じます。ここで言う「水」は水道水を指していると思いますので、水道水であることを明確にした方が良いと思います。「水」とだけ書くと、上水、下水、湖、伏流水など全てを含むことになります。 それから、4. 付帯意見の上から 3 行目で「使用水量によらない収入の確保する」と書かれていますが、不自然な言い回しなので、「収入を確保する」と修正した方がよいのではないでしょうか。
藤田次長	ご指摘のとおり修正いたします。
会長	他にありませんでしょうか。

発言者	発言内容
B委員	<p>冒頭で「予定の審議会開催回数を超え、5回にわたり審議を重ね」とありますが、たとえば「料金改定時期は令和8年10月からとする」の部分は、第2回会議で軽く触れられた程度です。また、下水道の改定率について答申案では33%となっていますが、以前の資料では35%と記載されており、このように過去の審議会資料を確認すると数字に相違が見られる箇所があります。さらに、第5回からは委員の一部が入れ替わっていますので、答申案の数値に整合した第1回から第4回までの資料の最終版をまとめてホームページに掲載するなどの対応が必要だと思います。</p>
藤田次長	<p>今後、あらゆるところへ説明に行く必要がありますので、ご指摘をいただいたような、これまでの経緯や最終結果をコンパクトにまとめた資料の作成を日水コンに依頼したいと思います。</p>
B委員	<p>第1回から第4回目の数字と違う値が答申に示されているので、そこはちょっと工夫していただきたいと思います。</p>
藤田次長	<p>市民の方が読んでわかるような資料にしないといけないと思いますので、紙ベースで作ったものも電子化してホームページに掲載したいと考えております。</p>
会長	<p>他にございますか。もしなければ、指摘のあった部分を事務局の方で修正をしていただくとして、審議会はこれで終わりにします。</p>
山崎副主幹	<p>事務局からのご提案になりますが、答申は11月上旬に市長へ提出する予定となっております。つきましては、答申の修正については会長と副会長に一任いただく形とさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>

発言者	発言内容
一 同	異議なし。
山崎副主幹	それでは、ご指摘いただいた内容について修正を行いまして、会長と副会長とやり取りしながら訂正いたしますので、よろしくお願ひいたします。
藤田次長	答申案が完成しましたら、11月6日11時30分から30分間、会長から市長に答申案をお渡しする予定です。その後、12月議会にて上下水道審議会の答申案を報告いたします。さらに、3月議会において議案のご審議をいただく予定です。
会長	ありがとうございました。それでは、議題（1）「水道料金及び下水道使用料のあり方の答申」については、これで審議を終了したいと思います。続いて、議題（2）「その他」に移ります。
山崎副主幹	次回の審議会につきましては、まだ具体的な日程は確定しておりませんが、12月下旬から1月中旬頃の開催を予定しております。詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。次回の議題としては、「上下水道決算報告」に加え、今後の「上下水道ビジョン」についてご説明・ご審議いただく予定です。どうぞよろしくお願ひいたします。
C委員	「上下水道ビジョン」の件ですが、これは今すぐではなく、次年度以降に審議することによろしいのですか。
山崎副主幹	上下水道ビジョンの答申は、令和8年度の11月頃に答申をいただく予定としております。このため、ほぼ1年をかけてご審議いただくことに

発言者	発言内容
会長	なります。 それでは、以上をもちまして本日の議事はすべて終了といたします。

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和7年12月19日

議長の署名

相葉 学

議長が指名した者の署名

市原 義道